

この度、2023年11月4日（土）・5日（日）の2日間、昭和大学（東京都品川区旗の台）上條記念館において第22回日本先進糖尿病治療・1型糖尿病研究会を開催させていただくこととなりました。

今年の会のテーマは「先達の叡智に学び、新たな診療・研究の舞台に挑む」にさせていただきました。わが国には、研究者の鋭い臨床に対する洞察力と不撓不屈の精神により緩徐進行1型糖尿病と劇症1型糖尿病という新しい1型糖尿病の疾患概念が発見、提唱され、以降長年にわたりその病態の解明に向け研究が進んでおります。また、ここ数年で糖尿病治療法・診療法は目覚ましい進化を続け、特にインスリン療法に関しては低血糖を予防するSAP療法からHCL療法(ハイブリッドクローズドループ)の時代へ突入し、人工膵島の実現という新時代へ向け、糖尿病のマネジメント法が大きく前進した治療変換期を迎えております。先達により築かれてきた糖尿病治療法、研究成果を「叡智」として改めて学びながら、次のステージに向けて勇往邁進するためのマイルストーンとなるような研究会にしたいと願っております。

「臨床」「基礎」のそれぞれに共通したプログラムや、先進糖尿病治療と1型糖尿病の横断的なトピックに関する合同シンポジウム等も企画しております。基礎、臨床分野を問わずご参加の皆さまに最新の知識を提供し、議論できる場としてご満足いただける研究会になるよう進めていく所存です。

第22回日本先進糖尿病治療・1型糖尿病研究会への皆様の御参加と御発表をお願い申し上げます。本研究会で、お会いできますことを心よりお待ちしております。

第22回日本先進糖尿病治療・1型糖尿病研究会
当番世話人 福井 智康
(昭和大学内科学講座 糖尿病代謝内分泌内科学部門)
会長 及川 洋一
(埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科)